

平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査について

I 診療報酬改定の結果検証

診療報酬改定については、その結果の検証を行い、それをその後の診療報酬改定に係る議論につなげていくことが求められており、中央社会保険医療協議会診療報酬改定結果検証部会において、検証作業を行っているところ。

II 平成22年度診療報酬改定の結果検証項目

平成22年度診療報酬改定の基本方針及び答申に当たっての中医協意見を踏まえ、診療報酬改定結果検証部会において、以下のとおり検証項目が決定されたところ。

1. 重点課題

(1) 救急、産科、小児、外科等の医療の再建

- 新生児集中治療や小児救急医療の評価、急性期後の受け皿としての後方病床機能の評価など、救急医療の充実・強化のための見直しの影響（22年度に調査を実施済）

(2) 病院勤務医の負担の軽減（医療従事者の増員に努める医療機関への支援）

- 病院勤務医の負担の軽減及び処遇改善に係る措置の影響
- チーム医療に関する評価創設後の役割分担の状況や医療内容の変化

2. 4つの視点

(1) 充実が求められる領域を適切に評価していく視点

- 精神入院医療における重症度評価導入後の影響
- 在宅歯科医療及び障害者歯科医療の実施状況
- 歯科技工加算の創設による影響（22年度に調査を実施済）

(2) 患者から見て分かりやすく納得でき、安心・安全で、生活の質にも配慮した医療を実現する視点

- 明細書発行の原則義務化後の実施状況及び影響（22年度に調査を実施済）

- 外来管理加算の要件見直し、地域医療貢献加算の創設による影響
(22年度に調査を実施済)

(3) 医療と介護の機能分化と連携の推進を通じて、質が高く効率的な医療を実現する視点

- 回復期リハビリテーションにおける質の評価、がん患者リハビリテーションの創設など、リハビリテーション見直しの影響
- 在宅医療の実施状況及び医療と介護の連携状況

(4) 効率化余地があると思われる領域を適正化する視点

- 後発医薬品の処方・調剤の状況 (22年度に調査を実施済)

Ⅲ 今後の検証スケジュール

平成22年度に調査を行ったものについては、今後、検証部会においてその検証を実施。

平成23年度に調査を行うものについては、現在調査を実施中。